

孤立出産の犯罪化に終止符を！



妊娠して帰国させられるのを恐れたベトナム人技能実習生グエットさん
孤立出産で死産した子の遺体を「適切に扱わなかった」と有罪に

2025年11月 無罪を求めて最高裁へ！

同様の事件でリンさんが最高裁で無罪になった後も続く孤立出産の犯罪化
死産をした直後に冷静な判断を求めること自体が問題

外国人・日本人を問わず 社会の構造的な問題
解決に必要なのは刑事罰ではなく女性を孤立させない仕組み

なぜ孤立出産をした女性だけが刑事罰の対象になるのか？

元国連女性差別撤廃委員会委員長の林陽子弁護士が弁護団に参加
司法の場でリプロダクティブ・ジャスティスの実現を問う



リプロダクティブ・ジャスティス裁判へのご支援を

クレジットカードからの寄付

<https://x.gd/pEkei>

コムスタカー外国人と共に生きる会
Syncableの支援サイト



郵便振替・銀行からの寄付

外国人技能実習生権利ネット・北九州
郵便振替：01750-8-84519

ゆうちょ銀行(9900) 179 支店
当座預金 口座番号 0084519

無罪を求める署名

<https://c.org/zJnHvyWWM2>

Change.org
孤立出産したベトナム人
技能実習生グエットさんの
無罪判決を求めます！



裁判所への一般意見書の提出

<https://x.gd/Hyq6y>

コムスタカWEBサイト
「意見書へのご協力をお願い」
に書式説明あり
第一次締め切り
2025年12月31日



連絡先：コムスタカー外国人と共に生きる会 〒 862-0950 熊本市中央区水前寺3丁目2-14-302
Website: <https://kumustaka.org/> Email: kumustakagroup@gmail.com
Facebook: <https://www.facebook.com/KumustakaKumamoto>
多言語情報「日本でのにんしん」 Website: <https://ninshinJapan.weebly.com/>

死産をした場所で異なる女性の扱いーこれって平等？

医療機関で死産した場合

遺体は医療機関が処置
女性は処置を求められない



孤立出産の場合

死産直後の女性に遺体の
「適切な処置」が求められる



リプロダクティブ・ジャスティスとは？

リプロダクティブ・ライツ(生殖の権利)とソーシャル・ジャスティス(社会正義)を組み合わせた概念。1990年代の米国で黒人女性フェミニストらが自らの経験と闘争から生み出した。子どもを持つ／持たないことの「選択の自由」だけでは、貧困、差別、暴力の下で生きる女性の現実を説明できないことから、リプロダクティブ・ライツの議論を「個人の選択」から「社会構造の転換」へと発展させた。国籍、人種、民族、性別、階級、性的指向、障害の有無など、個人がもつ複数の属性が組み合わさって生じる複合的な差別や抑圧を分析する交差性(インターセクショナルリティ)の概念を取り入れている。日本でも、外国人女性以外に、障害のある女性、アイヌ・部落・在日コリアン、性的マイノリティー、若年女性、貧困層の女性などが交差的形態の差別を受けやすい。

在日外国人女性にとってのリプロダクティブ・ジャスティスの課題とは？

① 子どもを持たない権利:避妊・中絶へのアクセス

出身国とは異なる日本の制度の例

- ・ 経口避妊薬(ピル)が処方薬で避妊目的では保険適用外
- ・ 緊急避妊薬が簡単に手に入らず高価
- ・ 人工妊娠中絶に配偶者同意要件あり

言語の壁を理由にサービスが受けられない



② 子どもを持つ権利

「産むことを許される人」と「産むことが許されない人」の間に線引きがある
「妊娠したら帰国／退職／退学」と警告されている

③ 安全で健康的な環境で子どもを育てる権利

在留資格「技能実習」「特定技能1号」「留学」の一部に家族帯同の制限がある
産休・育休制度を利用する権利があっても、現実には権利を行使できない職場環境
脆弱な育児支援制度

